

| 評価対象                              | 評価項目                                 | 具体的な数値項目  | 達成度                                       |  |    | 改善状況のまとめ   | 学校関係者評価  | 次年度の課題  |                               |  |  |   |
|-----------------------------------|--------------------------------------|---|---|--|----|--|--|---|-------------------------------|--|--|---|
|                                   |                                      |   | ①   | ②  | 総合 |  |  |   |                               |  |  |   |
| I 特色ある学校づくりに努めていますか。              | 1 特色ある教育活動を行っていますか。                  | 1) コース制・選択科目等を導入している教育課程(カリキュラム)に生徒の80%以上が満足している。 | A   | A  | A  | 新学習指導要領の完全実施に伴い、コース毎の教育課程全般について見直しを行った。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年インターンシップで受け入れていますが、真面目に取り組んでいます。事前にひとりひとりが課題を持ち取り組むとより大きな成果が得られると思います。インターンシップの礼状については、少し面一的で礼状の練習のような感じを覚えます。書式もありますが自分なりの言葉で書いた方が伝わると思います。</li> <li>・地域の中学校が実施している「花いっぱい運動」への技術的指導や支援を通して地域交流、地域貢献を果たしていると思います。</li> <li>・評価出来る。更なる向上のための継続することが必要であると思います。</li> <li>・コースごとのカリキュラムに生徒が満足していることは大変良い事であると思います。</li> <li>・学校が好きな生徒が多いことは大事な事であると思います。</li> <li>・インターンシップの受け入れ先の開拓は今後も、生徒の興味関心要望等を考慮し、常に考えていきたいと思います。</li> <li>・7日の課題研究発表会の生徒の関心度はすばしかった。生徒と教師の信頼関係も良好で生徒が落ち着いている。</li> <li>・高大連携については、勢多農の一帯特色を出せる分野であり今後も力を入れて欲しい。</li> <li>・選択科目については生徒のアンケートの結果からみて、時代の進展や生徒のニーズにあっていく証であると思います。</li> <li>・特色あるカリキュラムに入学希望者も多く魅力ある学校になっていると思います。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営実践型の成果について検証する。</li> <li>・新学習指導要領を踏まえより充実した学習活動について検討を行う。</li> <li>・キャリア教育の一環として、連携先の開拓と事前・事後指導の充実を図る。</li> <li>・進路選択の効果について検証する。</li> </ul>  |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 2) インターンシップ(短期・長期)に生徒の80%以上の生徒が満足している。            | A   | B  | A  | 1学年において長期インターンシップを全学科で実施した。受入先の開拓を学科コース毎に行った。  |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 3) 地域交流、地域貢献の活動、高大連携研究に全学科で取り組んでいる。               | A   | A  | A  | 全ての学科で取り組んでいる。共同研究先の開拓と内容の充実を図る。   |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 4) 学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。                       | B   | B  | B  | 生徒にとって魅力ある学校づくりを目指す。   |  |   |                               |  |  |   |
| II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。   | 2 生徒実態に応じた指導を行っていますか。                | 5) 授業に生徒の80%以上が満足している。                            | A   | A  | A  | 授業評価アンケートを2回実施した。、各学科・各教科で授業改善について話し合いを実施した。教材の工夫、ICT機器の活用など、生徒にとって「わかる授業」を目指す。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日授業を参観させて頂きました。印象に残ったのは、グループ学習でした。気軽に意見が出すお互い刺激し合ったりして理解も高まりやすういやり方ではないかと思えます。</li> <li>・授業改善、公開授業等により教員の指導方法など工夫が多く見られました生徒も良く授業に取り組んでいます。</li> <li>・更なる向上のための努力に欲しい。</li> <li>・生徒の80%が授業に満足している事に感心しました。</li> <li>・授業改善、公開授業等により教員の指導方法など工夫が多く見られました生徒も良く授業に取り組んでいます。</li> <li>・授業改善に関する取り組みも年間を通してよく行っています。</li> <li>・コース制等カリキュラムにほぼ満足している生徒が94%にあわせ、授業に満足している生徒が92%を示したことは、自分の好きなコースを選択し、かつ授業にも満足している一善理想的な回答になりました。</li> <li>・実習が多く、生徒は楽しく、魅力ある時間を過ごしていると感じられる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領を踏まえ、授業規律の確保、言語活動の充実、双方向授業の工夫力を入れ、より充実した授業にする。</li> <li>・落ちこぼれを出さないよう一層の工夫・改善を行う。</li> <li>・授業改善への意識はさらに意識を高める工夫を行いたい。</li> <li>・進路との関連を持たせながら、目標設定を明確にし、生徒にとつかわかる授業、魅力ある授業を目指す。</li> </ul>  |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 6) 授業改善のための研修会を3回以上実施している。                        | A   | A  | A  | 研究授業2回、公開授業6回等を実施し、教員の授業改善の意識を高めた。   |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 7) 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。            | A   | B  | B  | 授業改善と絡めながら学習意欲や興味・関心を持たせる工夫をした。  |  |   |                               |  |  |   |
| III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。  | 3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。                | 8) 生徒クラブ活動に生徒の70%以上が満足している。                       | A   | B  | A  | 活動場所の提供や動機付けの指導を行った。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席、遅刻も少なく、参観させて頂いた時も真面目な学習態度でした。適切な指導がなされているように思います。</li> <li>・部活動も意欲的に取り組んでいる生徒が多いと感じました。</li> <li>・今後も継続的な指導を欲しい。</li> <li>・生徒の人間関係が大変スムーズで、生徒指導の充実が実現されているように思われます。</li> <li>・クラブ活動については、運動部の活動が自立で、部員数増加しており、さらなる活動内容の充実が期待されると思います。</li> <li>・基本的な生活習慣に関する指導は自発的、継続的、組織的な指導が重要であり、登下校時の指導を中心によく指導が徹底されています。</li> <li>・勢多農生の生徒クラブ活動状況を見れば、生徒クラブ活動に満足している生徒の割合が85%を示したのは理解できる。生徒の自信につながっていると思います。</li> <li>・生徒の服装や態度をみると非常に落ち着いている。生徒と教師のコミュニケーションがとれていて、信頼関係が築かれているようにである。</li> <li>・挨拶は基本中の基本。良い結果が出たのは職員が率先し、指導しているからだと思われる。</li> <li>・心じめに対する指導は丁寧。早期発見、早期対応を願っています。</li> <li>・遅刻率や欠席率が低いということは、心身共に健康な証であり停学者も少なく生徒指導が良好に推移している。街中の学校であり、通距離通学者も多い中欠席率1.0%はすばらしいことだと思います。</li> <li>・全体的に落ち着いているが、心じめ等の問題行動はいつ起きるか分かりません。大人しい生徒が発言できる場を設けたり、アンケートを注意して見て欲しい。</li> <li>・実習時の生徒の行動にも注意を払って欲しい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は農く全大会が開催される年度になるので、生徒・職員一丸となって取り組むたい。</li> <li>・生徒と共に活動できる場所と時間を確保する。</li> <li>・非行未然防止のため校内巡視指導を今後もより充実させる。</li> <li>・あいさつ運動のさらなる推進をはかる。</li> <li>・二者面談の実施、家庭との連携を密にし早期対応に努める。</li> <li>・本人への自覚を促すと共に家庭への連絡を徹底する。</li> <li>・家庭への連絡を徹底すると共に、教育相談等を活用する。</li> <li>・スクールカウンセリングの活用、面談の実施など生徒理解に努める。</li> <li>・配布された資料を授業・LHRなどで有効活用する。</li> <li>・各学年に担当職員を配置し、学年に応じた連絡情報を定期的に提供する。</li> <li>・進路行事の内容をさらに充実させる。情報提供を行う。</li> <li>・1・2年次、2・3年次とその学年にあった計画的な指導を行う。</li> <li>・生徒の意識を向上させるための工夫を行う。</li> <li>・行事日程・内容等を検討する。保護者に繰り返し参加を呼びかける。</li> <li>・適宜更新し、内容の充実を図る。特に、各学科・コースの内容について更新を図る。</li> <li>・来年度もメール配信システムを活用し、より確実な文書が保護者に届くようにしたい。</li> <li>・講師の選定や実施期日について検討する。</li> </ul> |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 9) 頭髮服装指導、雨合羽着用指導、校内巡回指導を定期的に行っている。               | A   | A  | A  | 登校時指導、雨合羽着用指導、昼休みの校内巡回指導など定期的に実施した。  |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 10) 自ら進んで挨拶できる生徒が70%以上である。                        | A   | B  | A  | 登下校時に挨拶運動を実施した。  |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 11) いじめの未然防止、早期対応に努め、いじめの未解決が0件である。               | A   | A  | A  | 1学期は1件発生したが解決済みである。2学期は発生なし。今後も未然防止、早期対応に努める。  |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 12) 遅刻率は0.7% (5人/日) 以下である。                        | A   | A  | A  | 遅刻防止指導を担任・学年・生徒指導部と協働的に行った。年々減少している。   |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 13) 欠席率は1.5% (10.5人/日) 以下である。                     | A   | A  | A  | 教育相談等を活用した改善できない生徒がいた。年々減少している。  |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 14) 学校での人間関係がスムーズに行っている生徒が80%以上である。               | A   | A  | A  | 生徒が抱えている問題を把握するため二者面談を行った。また、スクールカウンセラーによるカウンセリングも実施した。  |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 6 計画的な指導を行っていますか。                                 | 15) 学校から提供される進路情報が役立つと評価する生徒が70%以上である。    | A  | A  | A  |  |   | 資料ファイル等を整備、情報提供に力を入れた。        |  |  |   |
|                                   |                                      |   | 16) 進路情報を定期的に発行している。(発行予定 12回)            | A  | A  | A  |  |   | 各学年毎に発行。3年9号、2年14、1年12号発行できた。 |  |  |   |
|                                   |                                      | 7 生徒は自らの進路について真実に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。            | 17) 進路関係の行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が90%以上である。 | B  | B  | B  |  |   | 「進路の日」など進路関係の行事を企画し進路を行った。    |  |  |   |
|                                   |                                      |   | 18) 進路決定率は100%である。                        | B  | B  | B  |  |   | 99%の生徒が決定した。                  |  |  |   |
|                                   |                                      | V 開かれた学校づくりに努めていますか。                              | 8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。                | 19) PTA総会、学年保護者会、支部懇談等に1回以上参加している保護者が70%以上である。 | A  | B  |  |   | B                             | 授業公開、PTA総会、オープンキャンパス、学年別・クラス別懇談会を実施してきた。参加者は増えたがまだ十分である  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な行事で、開かれた学校づくりに努めていると思います。また、パイオ部は地域農業と関わりを持ち、産地と一体となった活動が行われ、地域に貢献していることは、素晴らしい事だと思います。生徒もやりがいを感じられているのではないのでしょうか。</li> <li>・充実した内容のHPである。大変参考になるとともに、今後もタイムリーな話題を提供して欲しい。</li> <li>・家庭との連携も良く取れているように感じました。</li> <li>・各種行事を通して学校と家庭との連絡が良くなっていると保護者の協力体制がよくなっています。</li> <li>・料・力を入れていく交際部参加率を100%に近づける方を考えてはどうか。</li> <li>・HPは中学生が見やすいように工夫して下さい。</li> <li>・メース配信システムの活用をさらに図って下さい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事日程・内容等を検討する。保護者に繰り返し参加を呼びかける。</li> <li>・適宜更新し、内容の充実を図る。特に、各学科・コースの内容について更新を図る。</li> <li>・来年度もメール配信システムを活用し、より確実な文書が保護者に届くようにしたい。</li> <li>・講師の選定や実施期日について検討する。</li> </ul> |
|                                   |                                      |   |   | 20) ホームページ(webページ)を公開し、毎月更新をしている。              | A  | A  |  |   | A                             | 毎月、または行事ごとにも更新した。  |  |   |
|                                   |                                      |   |   | 21) 学校からの配布物に目を通している保護者が80%以上である。              | C  | C  |  |   | C                             | 保護者アンケートより、70%の保護者が目を通している。メール配信システム等を活用し、80%を超えるよう工夫する。 |  |   |
| 9 家庭、地域社会の教育力を活用していますか。           | 22) 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回実施している。 | 23) 主体的に農場施設等を利用して、学習に役立っている生徒が70%以上である。          | A   | A  | A  | 開校記念日、交通安全講話、薬物乱用防止講演会、エイズ講演会、進路講演会等を実施した。   |  |   |                               |  |  |   |
|                                   |                                      | 24) 農場の公開を定期的に年5回実施している。                          | A   | A  | B  | 春・秋農業まつり、オープンキャンパス、食農教育等を中心に学校の情報発信ができた。   |  |   |                               |  |  |   |
| VI 適切な農場運営を行い、生徒の学習に効果的に反映していますか。 | 10 計画的で有効な農場運営をしていますか。               | 23) 主体的に農場施設等を利用して、学習に役立っている生徒が70%以上である。          | A   | A  | B  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設も整理され教育環境も整っていると思いますが、温室は古いので様々な植物を育てるのには限界があると感じました。できれば新しい温室にしたらもっと実習にも使えて教育効果が高まるのではないかと思います。</li> <li>・中学生の進路決定はオープンキャンパスや農業祭は大変有効であると思います。</li> <li>・クラブ活動や課題研究も良い取り組みです。</li> <li>・農場関係の「生徒の活躍一瞥」では全国表彰等の活躍、「各部の生産実習費等」において活動が活発に行われています。</li> <li>・課題研究発表会においても発表内容が多岐にわたる専門的なものが多かった。</li> <li>・田植え実習や養蚕実習などを全学科コースの生徒が体験できるように計画して欲しい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農場クラブ活動等を通して、学科間の連携を強め、更に有効的に活用させる。</li> <li>・地域の要望、学校関係者評価委員さんの意見などを考慮して行う。</li> </ul>  |   |                               |  |  |   |